

勝浦市文化祭 発表会せまる

今年の文化祭発表会は、趣向を凝らした演出をと腹案を持って、勝浦市芸術文化団体連絡協議会の会議に出席した野口会長。残念な事に絶対必要な「バックスクリーン」を撤去して開催することが判明し、腹案を断念した。

腹案とは、背景に勝浦市の美しい景色を投影し太極拳の演武をしようという試み。バックスクリーンがなくては投影不可能だ。

再度計画を練り直し、演し物は「簡化太極拳24式」、「楊式太極拳88式(地)」、準備運動の八段錦と15分間の発表内容を決定した。



キュステでの練習 (写真提供 猪込氏)

11月3日(木)の発表会を間近に控え練習を重ねる度に気合いが入り、会場は熱い熱気に包まれている。

太極拳の技 連載11

のまぶんそう
野馬分鬃(02式)

鬃とは馬のたてがみという意味。たてがみを両手でやさしくかき分けるようにしながら、3回、左野馬分鬃、右野馬分鬃、左野馬分鬃と同じ動きを繰り返し進む。



① ゆっくり息を吸いながら、左手を下へ、右手は上へ、弧を描くように回し始める (左野馬分鬃)

② 右手は胸の高さを下へ、左手は腰の高さで「気」のボールを抱える



③ 重心を右足に移し、ボールを抱えた形のまま上体を左に回していき、左足かかとから左斜め前に踏み出す

④ 左手は馬のたてがみをなでるように前へ、左足の膝を曲げて左足に体重を移す
右足は弓歩で蹴る



⑤ 重心をゆっくり左足に移す (右野馬分鬃)

⑥ 再びボールを胸の前で抱えるようにしながら右足を左足に引き寄せる

⑦ 引き寄せた右足をかかとから右斜め前に踏み出す。右手は自然に前へ、左手は腰骨の前あたりへ

左野馬分鬃をもう一度行う。